

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	兵庫県		代表者名	兵庫県知事 齋藤 元彦	
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル改革課	連絡先電話番号	078-362-3052
担当者役職	班長	担当者氏名	内海 正仁	連絡先E-mail	
住所	650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名（予定）	①トップマネジメントセミナー DXをいかに進めるか～民間企業の戦略、自治体DXの意義と展望～ ②兵庫県自治体DX推進懇談会		
概要	①県・市町職員を対象とした研修における自治体DXの現状と展望にかかる講演（2時間半） ②県及び県内市町のDX推進に関する取組や課題等に対する助言等及び意見交換（4時間）				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システム標準化・共通化 行政手続オンライン化 スマートシティ その他				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	288・289・290	令和6年12月25日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年12月11日	事前打合せ(オンライン)	10時20分	17時00分	
				活動時間（分）	400
2-2. 派遣場所	会場名	①兵庫県学校厚生会館、②兵庫県庁、ひょうご女性交流館		最寄駅	神戸市営地下鉄「県庁前駅」
	所在地	①神戸市中央区北長狭通4-7-34、②神戸市中央区下山手通5-10-1、神戸市中央区下山手通4-18-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	庄司 昌彦
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	①トップマネジメントセミナー 自治体DXについて、国の方針、社会的背景、データインフラの活用について、他自治体の事例等を用いて説明いただいた。受講者から、DXについて認識を深めることができたという有意義な意見が多かった。 ②兵庫県自治体DX推進懇談会 県及び県内市町の取組及び現在の課題について、国の政策動向の詳細な情報提供をいただくとともに、他自治体の事例等を通して丁寧な助言等をいただいた。参加市町からは大変有意義かつ実用的な意見交換であったとの声が多かった。
アドバイザーへの要望事項	引き続き地域DXの推進に係るご支援をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	184人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	184（①157人、②27人）			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） DX・デジタル化所管課だけではなく、幅広い事業分野における職員、特に幹部職員が主体者意識を持ち、施策立案におけるDXの重要性や留意点を理解し、その施策効果を住民に展開しようとする意識改革が必要となっている。 また、全庁的なDX・デジタル化を推進するDX・デジタル化所管課においては、根強いアナログ文化やデジタル人材の確保・育成などの課題解決が急務となっている。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	県市町の幹部職員の意識改革に加え、「行政DX（システム標準化、窓口DX）」「観光DX」「教育DX」等事業の実装・横展開を進め、県民誰もがデジタルの恩恵を享受でき、自らのニーズに応じたサービスを選択できる「スマート兵庫」の実現を目指す。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	①トップマネジメントセミナーの講師としてご登壇いただき、自治体DXが求められる社会的背景や国の方針、背景や展望、データインフラをどのように扱うか等を他の自治体の事例等を用い説明いただいた。 ②県との意見交換では、次期スマート兵庫戦略の素案について、県に求められる取組等を助言いただいた。また県内市町との意見交換では「標準化の現実的な見通し」や「県と連携した人材プールや地域社会DXの推進」等を意見交換し、国の政策動向等の情報提供や課題対応等の助言をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	①DXへの取組について、社会的背景・理念などを説明いただき、管理職職員が自治体DXの意義や課題への認識を深めることができた。特に国の方針や他の自治体の事例等をご説明いただき、自治体DXが管理職職員にとって、『自分事』であるという意識を醸成する機会となった。 ②次期スマート兵庫戦略(R7~R9)の策定に向けた有識者の意見聴取、県・市町連携事業の実施に係る留意事項等の確認ができた。また、県内市町についても、システム標準化に係る国の具体的な政策議論の動向等の情報共有や、県と連携した地域社会DXの推進に係る気づき等が得られた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 県市町の幹部職員の意識改革に加え、地域DXの取組に対する振り返りや今後への方向付け、更にはDX施策を支えるデジタル人材育成等に係る県市町連携の意見交換ができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ①受講者の98%が有用であったと回答。受講者からも「DXに必要性が認識できた」「国のDX推進の状況がよく理解できた」「行政のDXの取組状況の理解が進んだ」といった前向きな意見が多く、有意義な研修となった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある 県については、次期スマート兵庫戦略(R7~R9)及びR7県市町協議会事業計画の策定を行う。また、県内市町については、システム標準化及び県と連携した地域社会DX等の今後の取組を進める。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	県民誰もがデジタルの恩恵を享受でき、自らのニーズに応じたサービスを選択できる「スマート兵庫」を実現する。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

①トップマネジメントセミナー



②兵庫県自治体DX推進懇談会

